

第二回関東学連総会

8/21 赤字加筆、訂正

日時 2018年7月28日(土) 13:00～
場所 早稲田大学戸山キャンパス
文責 河野貴大(東工)
出席 茨城 関東学院 慶應義塾 千葉 筑波 津田塾 電気通信 東京 東京工業
東京農工 東京理科 日本女子 一橋 横浜市立 横浜国立 早稲田 立教
委任 相模女子 十文字女子 日本女子 実践女子 群馬
議長 志村勇一(電通)
→全会一致(17)で承認

議題

1. スプリントセレクション推薦
2. ペアO反省
3. 2レーン制について
4. 国際大会日本代表選手のセレクション推薦について
5. 加盟について
6. 日本学連幹事会報告
7. 新人戦について
8. 対抗戦について
9. フットサル大会
10. 後援申請
11. 次回総会内容
12. 次回総会日程・議長決定

1. スプリントセレクション推薦

推薦を提出した山岸選手(筑波4)、香取選手(千葉4)両選手立ち合いのもと議論を行った。初めに両選手から今回推薦を出した経緯等について説明をいただいた。

初めに山岸選手に説明いただいた。

山岸 まず推薦規約の実績を満たしている。

不通過となっている理由であるが、スプリントセレクションで6から7に行くときに腹痛が理由でトイレに入った。このことがセレクション実行委員会から立ち入り禁止区域に入ったとみなされ失格となった。

このことについて建物は「規則で競技の公平性を期すため通過を禁止するもの」となっている。しかし建物に入った方向から出たため競技の公平性を欠いておらず失格は不当として提訴した。提訴について実行委員会は「立ち入り禁止に入ったため失格」という回答をしたが非常にあいまいなものと感じた。また WOC などの国際レースでは花壇などに入ってもすぐに戻れば失格にならない。以上2点から JOA の地図委員会に問い合わせた。

このことについて JOA の回答は「ISSOM2007 では公平性の確保と法的トラブルの回避の2点から通過禁止を設けているとなっているため、原則として通過禁止は立ち入り禁止である。しかし JOA 地図委員会委員長中村憲氏個人の見解としてトイレに行くことは生理的現象であるために失格にするほど悪質ではない。またトイレに入るのは正当な利用目的である。以上2点から実行委員会側が柔軟に対応してもよい。」とのことだった。このことをうけ競技の公平性に反しておらず、法的トラブルにもならない正当な理由で建物に立ち入ったとして、今は実行委員会側に再び提訴している。

また日本のスポーツでトイレに入ることで失格になるスポーツは存在しない。トイレに行ったがタイム的には通過している。トイレを禁じることはスポーツ団体としていかがなものか。JOA などはトイレに行きたい人がでたときにどうすればいいのか決めておくべきである。

最後に学連枠をとるという関東学連の推薦根本的な目的を果たせることから推薦されるべきである。

事務局長 実行委員会側が順位を改める可能性があるということか。

山岸 順位を改めることより非があったことを認めてもらうために提訴している。

幹事長 実行委員会の今の対応はどうか。

山岸 JOA の回答が遅かったため現在出している提訴も出すことが遅れた。そのため提訴に対する回答はまだもらっていない。(実行委員会側が山岸選手からの連絡を確認したのは総会当日の午後であった。)

幹事長 現在実行委員会側の対応がなされていないということはセレクションでは不通過だったが推薦を出しているという認識で正しいか。

山岸 正しい。これまで E カード紛失などで失格となった選手達から推薦があったがその選手たちとは失格の原因も実績も違うため過去の事例とは別に判断してほしい。

次に香取選手に説明していただいた。

香取 スプリントセレに出場できなかった理由として地方上級公務員試験を受験していたからである。

今年度総会で日程が決定されたが昨年度までは公務員試験は考慮されていた。

昨年度まで考慮されていたことから推薦理由として妥当ではないか。

多くの人がスプリントセレに出られるようにするべきであり出られない人にはなんらかの方法でセレクションするべきである。

また昨年度インカレスプリント 11 位であったが、推薦規約は 10 位をあくまで目安としているため実績を満たしており、かつ昨年度は学連枠もとっている。

また今までの実績から考えると今年度も学連枠はとれるだろう。

以上から推薦されるべきであると考えている。

補足として地方上級公務員試験は公務員志望のほとんどが受けるため重要度が高いといえる。

幹事長 各選手の推薦理由は妥当か話し合う。

初めは香取選手について検討する。

事務局長 未出走の理由は規約のどれに当たるのか。

香取 国際大会出場セレクションを欠席した際推薦が認められているのは、国際大会が社会的に重要であると認められているからである。同様に公務員が第一志望であり公務員試験は社会的に重要であるため推薦を認めるべきである。

早稲田 これまでの国際大会出場推薦が使われた例は存在するのか。

幹事長 昨年度は上島選手の WOC 出場に伴い推薦枠を使った。

副幹事長 未出走理由に異議がある人はいるか。

山岸 就活の第一志望が理由になるとキリがなくなる。

私の場合は就活が土日に入らないようにした。

副幹事長 公務員試験と普通の就活はざらせるかざらせないかが大きく違うように思う。

事務局長 公務員試験は毎年考慮しており、推薦でも考慮はするべき。

東工 実績に関して今年度 11 位を認めると来年度 12 位はどうなるのか。

香取 昨年度の実績以外にも考慮するべきであり、考慮をすれば推薦は妥当である。

今後の推薦も前年度のインカレスプリントの順位は目安であり、ほかの実績も考慮する必要がある。

早稲田 規約は両方を満たすことがあくまで望まれるので 11 位実績として十分である。

慶応 総会で考慮したうえで日程をかぶせたので、公務員試験はスプリントセレ欠席

の正当な理由として認めるべき。

東大 公務員試験は正当な理由である。

昨年度のインカレスプリント 11 位は目安であり、ほかの実績も含めれば実力は十分である。

一橋 就活は土日に行われるものなのか。

山岸 大手の面接などは土日に行われることが多く、第一志望であるからといって認めるとキリがない。

幹事長 次に山岸選手の推薦が妥当かどうか話し合う。

幹事長 JOA と学連に上下関係が存在するのか。

事務局長 存在する。

(学連は JOA の正会員であり、上下関係ではない)

東工 実行委員会側は立ち入り禁止に入ったから失格としているのか。

山岸 実行委員会側はそのように判断したという認識で間違いない。

JOA は利用目的を満たしており、法的にも問題のない場所であるので柔軟に対応すべきという立場。

早稲田 トイレ利用は禁止するべきではない。

幹事長 陸上短距離などでトイレに行くことはない。

スプリント競技もトイレに行くことを想定していない。

山岸 トイレに行くことを認めないと今後の競技でトイレに行けなくなる。

事務局長 JOA の回答があるためトイレ利用目的でトイレに入ったことは妥当としていいのではないか。

法政 通過不能な水域で水を飲むことをしたとしたら推薦が通るのか。

山岸 例えば川の水を飲むのは利用目的から反しているのではないか。

また水分を補給することは体にとってメリットとなることから推薦理由として妥当ではない。

副幹事長 例えば立ち入り禁止に入った後すぐ戻るのはどうなのか。

山岸 法的に問題になるので失格であろう。

副幹事長 トイレも同様に戻っても明確にアウトではないか。

事務局長 JOA が認めているため戻ったのであれば大丈夫なのではないか。

一橋 トイレは選手間の認識では立ち入り禁止。

例えば同様の理由でトイレに入れず体調が悪いまま走り切りタイムが残った選手がいた場合どうするのか。

またトイレ利用によって体にとってメリットになっている。

山岸 その選手がトイレを利用しないことは知識不足としか言いようがない。

今回に言えば私はトイレに入ったが利用はしていないので体にメリットとなっ

ていない。

千葉 今回の事例を認めることは実績のある選手が今後同様に立禁にはいることで推薦を出す可能性がある。

推薦として前例を作るべきでなく、あくまで7位としての記録を認めるべきではないか。

東工 実行委員会とJOAどちらを優先すべきなのか。

幹事長 運営を任せている以上実行委員会の結果を無視することはできない。

しかしJOAの意見も無視できるものではない。

事務局長 推薦枠の割り振りを変えることはできるのか。

幹事長 関東学連内で過半数の信任を得れば可能。

東工 両選手の推薦が適当と承認したとき両選手は同等の扱いなのか。

幹事長 推薦内容によって優劣がつく可能性がある。

実行委員会として失格を取り消さない理由はなぜなのか。

山岸 実行委員会はトイレに入った時点で失格という立場をとっている。

幹事長 実行委員会に任せている以上実行委員会に従うべきではないか。

山岸 推薦は学連枠を増やす措置であるので、学連枠を増やすことができる可能性が大いにある私の推薦は認めるべきでないのか。

事務局長 今日すべきなのは両選手のどちらを認めるべきかの優先順位をつけることである。

幹事長 運営は失格の判断をしており、昨年度までは失格は推薦に値しないのではないのか。

事務局長 これまで失格となった選手を推薦をとしていないのは推薦理由が不十分であるのではないのか。

推薦を提出した両選手に退出していただいた上で推薦基準を満たしているか決を採った。

香取選手は推薦基準を満たしているか

→全会一致(17)で承認

山岸選手は推薦基準を満たしているか

満たしている9

満たしていない4

棄権 4

→過半数を超えたため承認

両選手の推薦での優先順位をつけるうえで、山岸選手の推薦基準を満たしているとした側と満たしていないとした側で意見を出した。

賛成

- ・トイレに行くことがベストになると考えたのであればそれも競技の内である。
- ・残っている客観的な事実、例えば記録などから判断すると承認すべき。
- ・地図表記は普遍的でなければならず、運営ごとに地図表記の解釈を変えるべきでないので JOA の判断を尊重するのがよい。

(今回 JOA の判断とされているのは、あくまで中村氏の意見である。)

反対

- ・今回タイムでいえばセレクション通過となっているため問題となっているが、役員にトイレで話しかけられなかった場合トイレを利用してタイムで通過していない場合がある。
- ・コンディションの調整は個人の責任である。
- ・実行委員会に従うべきであり、実行委員会が失格としている以上失格でよいのではないか。
- ・スプリント競技でトイレに行く時点でレースを放棄しているのではないか。
- ・JOA の意見はトイレをするためなら立ち入りを認めているが、山岸選手はトイレをしていないのでトイレの正当な利用目的で入っておらず、立禁に入ったのと同様ではないか。
- ・実行委員の公式決定は尊重すべき。
- ・JSOM は通過禁止を立ち入り禁止とみなしており、ISOM の個々の解釈によるところがあり、今回の JOA の回答は JOA の担当者の一意見である可能性が否めない。

再び両選手に入室いただき、再度両選手が推薦にふさわしい理由を公表していただいた。

山岸 トイレの利用目的に則していないという意見があるが、利用目的に則そうとしようとしたが役員に制された。

実績を最も考慮すべきである。

また日本オリエンテーリング界で JOA が最上位団体であり、JOA の判断に従うべきである。

香取 地方公務員試験は社会的に重要。

インカレの実績は目安であり、ほかの実績も考慮すれば推薦は妥当。

両選手に退室いただき実績、理由総合的に判断してどちらが推薦すべきか決を採った。

この際各渉外の意見が他の渉外に影響を与えないように渉外は伏せた状態で決を採った。

香取 16 + 委任1 (実践)

山岸 1

以上から関東学連は香取選手をスプリント選手権部門出場者とした。

関東学連として現段階の情報では山岸選手の推薦理由は妥当としたが今後の実行委員会の回答次第で判断は十分覆る可能性がある。

2. ペアO反省

事務局長 各パートの引継ぎは資料を作成する。

全体で周知すべきことはあるか。

一橋 交通を考慮してトレインを決めるべきであった。

東京理科 プランナーがコース解説をすとなおよかった。

法政 コースが少し難しかった。

筑波 大会の目的として新歓なのか結果を出すことなのか明確でない。

ペアとなる先輩によって記録が変わるのではないか。

他の大学の先輩と組んでもいいのではないか。

幹事長 関西は学連新歓で新歓を行い、定例戦で結果を出す。

学連新歓では他大学の先輩とペアを組む。

事務局長 大学の先輩がわからなのに他大学の人と組ませるべきではないのではないか。

昨年度にくらべコントローラーがついたのがよかった。

3. 2レーン制について

幹事長 今年度のレーン分けが妥当だと思うか。

仮にレーン分けが妥当だったと判断した場合来年度は規則を変更しないで行く。

スプリントセレクションに関して意見があるか。

特になし

幹事長 ロングセレクションでは規約でコース分けを事前に公開することは禁止されているが今年度は承認をとったうえで事前に公開した。

すべてのセレクション規約から「コースの割り振りはレース前には非公開とし、レーンの割り振りのみが公開される。」という文言を消してもよいか。

千葉 コース分けも含めたうえでのセレクション運営ではないのか。

早稲田 運営者の負担を考えると消すべき。

幹事長 消したうえで運営者に今後を任せるべきではないか。

一橋 デフを配られたうえで走ったほうがいいではないか。

東京 文言を消したうえで問題が起きたら再検討すればよい。

対象の文言を消してもよいか

→全会一致(17)で承認

4. 国際大会日本代表選手のセレクション推薦について

幹事長 日本代表選手をセレクション通過としてよいか。

法政 関東として作るべきでなく、日本代表として出ているので日本学連が通過とする
枠を作るべきではないか。

筑波 セレクションと世界大会が被った時のみ通過とすべき。

推薦枠は限りがあるので推薦枠を使ってのセレクション通過とすると推薦が難しく
なるのではないか。

幹事長 推薦枠の数を变えることは関東学連内で可能。

世界代表選手はセレクションを通過できる実力を持っている。

筑波 JWOC は 20 歳以下なので推薦の実績として認めるべきではあるが、通過とする
べきではない。

東京 WOC や WUOC の代表選手は実力が十分であり学連で推薦枠と別に枠を作りセ
レクションを通過させるべきである。

JWOC の代表選手は 20 歳以下から十力にばらつきがあり、必ずしもセレクション
を通過できる実力があるとは言えない。よって学連の枠でセレクション通過を確
約するべきでなく、日本学連が仮に実力十分と判断したのであれば日本学連がセ
レクションを通過させる枠を作るべき。日本学連で枠を作ることができないので
あればこれまで通りの推薦でよいだろう。

法政 JWOC は高校生なども含まれるため大学生が対象のインカレに持ち込むべきでな
い。

幹事長 実践女子は JWOC をセレクション通過の対象にするべきでないという立場。

JWOC は選考が全大学生対象ではない。

立教 セレクションと大会が被った時のみ通過にするべきである

JWOC は実践女子と同様の理由で公平性に欠ける。

幹事長 枠は日本学連で設けるべきか。

中央 代表が 1 つの地区に集中した場合に地区ごとの枠を使うと特に女子で枠が減り
すぎる場合がある。

よって日本学連に追加で設けてもらうべきであろう。

幹事長 次回総会で議論するべきは以下 3 点。

- ・ 枠を関東学連内で設けるか。
- ・ JWOC をどうするか。

- ・国際大会が被ったときのみの適用とするか。

5. 加盟について

- 幹事長 加盟について、大きく分けて3つの論点が存在する。大学が移った場合の加盟について、大学院生の加盟について、専門学生の加盟についてである。今回の総会ではこれらについて加盟校の意見を集め、次回の日本学連幹事会に持ち込みたい。それぞれについて何か意見がある大学はあるか。
- 一橋 大学院生の加盟には違和感がある。
- 理科 長万部キャンパスにいく人は学連登録が遅れるので3年目、4年目で大学院生となる。現状どおり大学院生の学連登録を認めないとすると、長万部キャンパス帰りの人がモチベーションを失う。
- 東京 転学者は所属を本人が決めてよいが、情報の統制にはなんらかの対策を講じる必要がある。
大学院生は連続での学連登録に限り認めてよいのではないか。
- 筑波 大学院生のインカレチャンプに違和感がある。
専門学校はカレッジではない。
- 事務局長 オリエンの振興上で専門学校生を断るべきでない。
- 日本女子 新歓で専門学校生に対しての対応を困ってしまった。
- 事務局長 専門学校生は普及、院生は競技が議論点になる。
- 千葉 モチベの維持のために院生も加盟を認めるべき。
- 茨城 大学院生が興味を持ってくれたこともある。
- 一橋 他の学生スポーツと比べると大学院生の加盟は違和感がある。
ただし大学は様々な年齢の人がいるので年齢で分けるべきではない。

6. 日本学連幹事会報告

次回持越し

7. 新人戦について

8/13(月)試走

8/28(火)新人戦

役職

スタート ◎佐久間、宮嶋、濱野、香取、生田、佐藤、(高見澤)

ゴール ◎鶴原、志村、宮本

計セン ◎柏田、西谷、小寺

会場 ◎畠山、菅沼、押切、保木

演出 ◎田村、増澤、山田

8. 対抗戦について

各校の予定を鑑み以下のように開催する。

9/24 東早戦(東工)

10/13 東関東対抗戦(東工)

東工大スプリントに併設予定

本郷スプリント予定日と被っているため、後日東京と東工で調整

12/15 東慶戦(OC)

12/22 慶東工戦(OLK)

※()は運営

9. フットサル大会

割愛

10. 後援申請

来年1月に開催される筑波大学大会の後援申請を認めるか

→全会一致(17)で承認

11. 次回総会内容

幹事長 ミセレに関東インカレを併設することの承認をとる。

また山リハリレーに関東インカレ団体戦を併設することの承認もとる。

12. 次回総会日程・議長決定

日時 8/27(月)

議長 宮嶋(千葉)

会場 ファミテック